

平成27年7月1日

第11回 全日本学生ラート競技選手権大会 実施要綱

全日本学生ラート競技選手権大会
実行委員会

1. 目的

- 広く学生から参加者を募り大会を実施することで、日本におけるラート競技の普及、発展に貢献する。
- 学生間で競技大会を行うことによって、日本におけるラート競技の技術水準の向上に貢献する。
- 学生が主体となり大会を運営することで、学生の競技者間の親睦をはかる。

2. 主催

全日本学生ラート競技選手権大会 実行委員会
＜実行委員長：大島暢(松本大学)＞

3. 後援

日本ラート協会

4. 協力

筑波大学体操コーチング論研究室、筑波大学体操部

5. 参加資格

- 学生であること
(大学生、短期大学生、大学院生、高等専門学校生、専門学校生を含む。)
 - 初参加の年度の始期から満4年を経過していないこと
 - 日本ラート協会会員であること
- ※ただし、デモ部門においてはこの限りではない。

6. 会場

琉球大学千原キャンパス第一体育館（沖縄県中頭郡西原町千原1）

7. 日時

平成27年8月29日（土）～ 8月30日（日）

29日（土）

9：00 体育館開場

9：30 選手受付開始

11：30 開会式

12：00 規定演技の部 跳躍女子 斜転男子 競技開始

13：30 斜転女子 直転男子 競技開始

15：00 直転女子 跳躍男子 競技開始

16：30 決勝進出者発表 および 級ごとの表彰

30日（日）

9：00 体育館開場

10：00 自由演技の部 斜転女子 競技開始

10：40 斜転男子 競技開始

11：30 跳躍女子 競技開始

12：10 跳躍男子 競技開始

13：00 直転女子 競技開始

13：40 直転男子 競技開始

14：20 デモ演技の部

15：00 閉会式および表彰

18：00 レセプション

※参加人数によって変更がある場合があります。ご了承ください。

8. 競技種目

競技種目は、直転・斜転・跳躍の3種目とし、男女別で競技を行うものとする。

○ 規定演技の部

個人戦および団体戦を行う。

個人戦は、男女別で競技を行うものとする。団体戦は、各団体4名のうち、各種目上位3名の合計点で競うものとする。

（同じ大学から参加するチーム数は制限しない。ただし、ひとりの選手の複数チームへの所属は不可とする。団体戦は男女混合チームでもよい）

○ 自由演技の部

男女別で競技を行う。規定演技の部の個人戦において、各種目上位8位までの者が出場資格を有する。自由演技の部においては種目別個人戦を行う。

9. デモ演技の部

- ラートをを使用したデモンストレーション演技で競う。
- デモ演技に参加していない選手、および、観客の投票により、順位を決定する。
- 人数、および、同じ大学から参加するチーム数は制限しない。また、ひとりの選手の複数チームへの所属も可とする。男女混合チームでもよい。
- チームの構成員のうち、半数以上は学生でなければならない。この条件が満たされれば、学生以外のデモ演技への参加も可とする。

10. 表彰

- 規定演技の部では個人戦の総合1位から3位までメダルを授与し、8位まで賞状を授与する。団体戦の1位にはトロフィーを授与し、3位まで賞状を授与する。また、直転および斜転の2～5級、跳躍の伸身跳び、閉脚抱え込み跳び、開脚座り跳びにおいて、それぞれの級、および技ごとに、得点の高い選手1位から3位に賞状を授与する。
- 自由演技の部では、種目別の1位から3位にメダルを授与し、8位まで賞状を授与する。
- デモ演技の部では、1位から3位まで賞状を授与する。

11. 新人賞

規定演技終了後、得点部門、印象部門において、各1名を対象者の中から選出し授与する。

○目的

ラートを始めて間もない選手に、「新人賞」という目標を持ってもらうことで、ラート競技の継続意識かつ向上心を高める。

○対象

インカレ初出場かつ学生としてのラート経験が1年以内。(申し込みの際に申告)(ただし、学生とは、大学生、短期大学生、大学院生、高等専門学校生、専門学校生を含む。)

※ただし、全日本ラート競技選手権大会で三種目中、いずれか一つでも決勝へ進出したことがある場合、新人賞の対象外とする。

○選出

得点部門：規定演技の総合得点が最も高かった選手。

印象部門：最も好印象な演技を行った選手。

(大学ごとに新人賞印象部門に最もふさわしい選手を1名推薦し、第11回全日本学生ラート競技選手権大会実行委員会12名の投票により

決定する。)

12. 適用競技規則

全日本学生ラート競技選手権大会 競技規則2015

13. 参加費

選手一人につき5000円（ただし、デモ部門のみの出場の場合、参加費は無料。）

なお、参加費については、大会受付時に各大学でまとめて納付するものとし、既納の大会参加費や諸費用はいかなる事由でも返還しない。

14. 審判員の選出

審判員は第11回全日本学生ラート競技選手権大会技術委員会により、選出される。

15. 参加申し込み方法

各大学はホームページでダウンロードした参加申し込み用紙に以下の項目を記入し、実行委員会宛に郵送するか、同様の項目をEメールで実行委員会に送信すること。なお、参加申し込みによって実行委員会が得た個人情報は、大会の運営上の使用にのみ用いられ、それ以外の用途には使用しない。

1) 選手所属大学

- ・ 大学名

2) 今大会および次回大会実行委員

- ・ 氏名

3) 団体エントリーについて

- ・ チーム名
- ・ 選手名

4) 参加選手、応援者について

- ・ 氏名
- ・ フリガナ
- ・ 性別
- ・ 学年
- ・ 新人賞の資格の有無
- ・ 参加種目の級、および跳び方

- ・ 使用するラートのサイズ（直転、斜転、跳躍）
- ・ デモ演技への参加の有無
- ・ 宿泊申込の有無
- ・ 学生ラート講習会への参加の有無
- ・ 食事の注文の有無
- ・ レセプションへの参加の有無

6) デモ演技エントリーについて

- ・ 団体名
- ・ 作品名
- ・ 参加者名

16. 申し込み期限

2015年7月20日（月）必着

また、申し込み期限後のキャンセルについては**2015年7月31日（金）**まで受け付けることとする。

17. 実行委員の選出

すべての参加大学は大会参加申し込み時に1名の次回大会実行委員を選出しなければならない。

次回大会はここで決められた実行委員によって運営される。

次回大会実行委員は、大会期間中の実行委員会会議への出席が義務づけられる。

18. 備考

日本ラート協会会員として傷害保険に加入しているか、各人で競技中の傷害について補償の受けられる傷害保険に加入していること。なお、大会中に発生したいかなる疾病、傷害についても実行委員会は補償しない。

次回大会の開催場所、時期、実行委員長については、大会期間中の実行委員会会議で決定する。

大会期間中実行委員が撮影した映像または写真、試合結果等の著作権は実行委員会に帰属する。

19. 問い合わせ

不明な点の問い合わせなどは以下の住所、電話番号、メールアドレスに宛て、郵送、電話またはEメールで行うこと。

第11回全日本学生ラート競技選手権大会 実行委員会 大島暢

住所：〒390-1241 長野県松本市 大字新村 2252 マンション翠 108 号室

電話：090-4923-4441

メールアドレス rhoenrad_intercollege@hotmail.co.jp

以上